



波濤

<http://hatoh.net/>

第64号

発行 放送大学神奈川同窓会

編集委員会

責任者 金田 保男

発行日 2023年1月11日

会員数 594名(2022年10月1日現在)

DXによるこれからの時代



神奈川同窓会会長 金田保男
新型コロナ感染症(COVID-19)
の世界的流行から3年が経ち、
第7波の蔓延後ようやくピークを過ぎ現在新規感染者数も
減少しつつあります。今後諸
外国との人々の交流も増加するものと思われ、それ自体好

ましい事ですが各国特有の変異株の影響により、
これからも暫くの期間感染の増減が続くものと推定されます。

〔対面機会の減少〕

この3年間放送大学各学習センターは、感染拡大防止のため学校施設の利用制限をせざるを得ない状況になり、登校機会が大幅に減少しました。今迄普通に思っていた対面による会話・学習が出来なくなり、やむなくZoomを利用した会議や講演等が行われることになりました。

〔ウィズコロナ時代〕

生活スタイルも大きく変わってきました。学習環境も小学校の児童から大学までONLINE授業が普及しています。小学校から自宅でタブレットを使用し授業を行うことは考えたこともありませんでした。

顔を合わせる機会が無くなりましたが、神奈川同窓会ではいち早く2021年1月よりZoom有料プランを導入して勉強会を行い、その後会議や発表会を行っています。またZoomを使用するにあたり一般会計の経費の予算化も行い、Zoom社との契約を行って運用を開始いたしました。

〔有料Zoomアカウントの配備〕

Zoom会議システムでは、人の移動をせずに顔の見える会議が出来るので、特に放送大学のように各県ごとに学習センターがあり移動が困難な場合、

Zoomを利用したONLINEシステムは大変有効な手段になります(交通費もかかりません)。放送大学特に大都市圏の同窓会は、独自にZoom契約を行い運用開始しました。しかし全国では、パソコン操作に不慣れな同窓会もあり一様には進みません。

そこで全国展開の必要から放送大学同窓会連合会のICT強化推進委員会では、ICT強化を図るためにZoom社と契約し、有料Zoomアカウントを2022年5月全国同窓会へ配備しました。これにより神奈川単独の契約は凍結しました。このZoomの使用目的は同窓会およびサークル活動での活用で、Zoomを利用した講演会、会議、研究発表会、各種学習会等の利用です。個人的な使用は不可とします。

〔期末試験はIBT化に〕

IBTとはInternet-Based Testingの略で、インターネットに接続されたパソコン等で試験を受けることです。コロナ禍前までは学習センターが会場で、科目によって試験の日時が決められていましたが、この制約を取り払うことが目的です。既に2022年度1学期から試行されています。

〔DXによるこれからの時代〕

DX(Digital Transformation)とはデジタル変革のこと、放送大学副学長の近藤智嗣先生は「何のためのDXか」について次のように話されています。

DXという概念は、エリック・ストルターマン(現・インディアナ大学教授)が2004年に“Information Technology and Good Life”という論文で提唱したものです。このタイトルの最後には“Good Life”と付けられています。単なるデジタル化ではなく、最新のデジタル技術で人々の生活をより良いものへ変革する事、これがDXの目的です。

この言葉でDXとは、単に企業や公共団体の作業効率化のみではなく、“Good Life”が目的とのことで、DXに対する私のイメージが今までとは違ったものになり前向きの気持ちになりました。

2022年9月学位記授与式

2022年9月の神奈川学習センター学位記授与式は9月25日（日）に挙行され、今学期の神奈川学習センターの卒業者は157名でした。新型コロナウィルス感染症拡大により2年ぶりの開催となり、式典は3コース毎の2部制で挙行するという対策が取られ、私が出席した午後の部は「心理と教育」「情報」「自然と環境」の3コース卒業生24名の参加で行われました。

冒頭の大谷所長の式辞は、「高校までの学びは一定の授業を受け知識を習得するという受動的な勉強ですが、大学での学びは課題の解決に向けたアウトプットが求められるという能動的な学びです。そのような学習を続けてきて学びの成果を社会に還元できるという認定を受けた結果の卒業です。今後も能動的な学びを継続しいろいろな場面で社会への貢献に励んでほしい」という激励の言葉をいただきました。

続く来賓祝辞では神奈川同窓会の金田会長から、香川学習センター所属の全盲の学生さんが大変な苦難の先に卒業に至るという事例が紹介され、「放送大学の同窓生にはこのように素晴らしい人々がたくさんいます。同窓会活動に参加していただき母校の発展に寄与しましょう」と祝辞がありました。続いて2名の客員教授からそれぞれ祝辞をいただきました。

最後に大谷所長より卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され式は終了しました。

学位記授与式にあたって、神奈川学習センター所長はじめ教職員の皆さまの感染防止の観点から周到な準備を進められ、学位記授与式が挙行されたことは私たち卒業生にとって大きな喜びです。改めて感謝申し上げたいと思います。（木下義則）



同窓会連合会「地区交流会」の紹介

放送大学同窓会は、全国で51同窓会があり連合会体制を執っています。連合会の主な活動計画の中に「地区交流会」を設け、各同窓会の課題などについて議論し、大学本部の動向や連合会または他地区的活動状況を報告し、意見交換や要望事項等を討議しています。2022年は9月に「東北・北海道地区交流会」の盛岡開催に参加し、10月には「関東・甲信越地区交流会」の宇都宮開催に参加する機会が続きましたので紹介します。

第1部では大学本部（副学長等）の講演および開催地学習センター所長の講演、第2部は「情報交換会」で各同窓会の状況や問題点等討議します。

2022年の主なテーマは①コロナ減少傾向に向けた活動再開への動き②各同窓会のZoom活用状況および運用等が議論されました。

引き続き交流会および懇親会を行い、各同窓会役員間交流が行われます。この交流により親密な間柄となり、3月の「学位記授与式」後の「卒業・修了祝賀パーティ」時は、実行委員として互いに協力し合う間柄になります。

（金田保男）

卒業生ショートメッセージ

◆横浜市 磯野進一：40年前大学を卒業、そして就職と慌ただしかったころを思い出しながら、9月の学位記授与式に臨みました。インターネットや携帯もなかった頃から時代は劇的に変化しました。卒業時の知識ではおぼつかなく、情報工学関連の知識など、とても参考になりました。昨今、リカレント教育の重要性も言われているので、若い現役の人がより多く参加できるような環境を期待しつつ卒業させていただきました。

会社在職中もチャット、WEB掲示板、テレビ会議などが、コミュニケーションになりつつありました。コロナ禍で一気に加速しました。放送大学も物理的な環境だけでなく、ITの変化にあわせて変わっていくと在学生や卒業生のきずなも一層深まるのではないかと期待しています。

卒業生の言葉

放送大学で学んで

塙本 豊



私は会社を介護のため退職するとき、社内にいた方が声を掛けてくれて放送大学を知りました。その方は放送大学で教鞭をとっている先生に近い方で、退職して何もしないとすぐにボケるからこんな大学があるので考えてみたらと教えて下さいました。そこで当初は選科履修生として入学し数年間過ごし介護が落ち着いた後全科履修生となりました。その時取ったコースが社会と産業です。

なぜ社会と産業なのか。小さな会社でしたので私は、担当の仕事から始まり社内の各種の仕事を経験することができました。そこで実践してきた事と理論的な考えによるものと自分なりに対比できないものかと考えてみました。そのため選択する教科も考え、理論と実践を対比できる科目を選び受講する事としました。しかし受ける教育内容と実践してきたことを対比するのは難しいものだと思い知らされました。理論的なことは理解しましたが実際の社会で実践するのは?と考えると課題が多いなと思うところまでで、結論はでませんでした。

ただ知らないことを知ることで、このことが前もって知っていたら考えも実践も違っていたかも知れないと思うことはいくつかありました。このような形で勉強を進めましたが卒業資格を取るために最難関は外国語の単位を取ることでした。外国語は中学の頃から一番の苦手でした。私にとって学校を卒業してから一番時間をかけ勉強をしたのですが自信は全くなく試験が近づいてきました。

しかしこロナの影響で単位認定試験は自宅での受験となりました。試験場よりは周りに資料をおいて受験ができると思いつつ試験を受けました。ですがどこで受けても自信の無いものはやはり厳しいと感じながら終えました。まずダメかと思ったのですが、なんとか合格となり単位を取得することが出来ました。

昨年の三月に卒業することが出来たのですが、やはり思うことは日々の積み重ねが生きるのだということを何度も知られ、再度認識することとなりました。現在は再入学し情報コースで学んでいます。

卒業生の言葉

放送大学卒業に思う

村上 博



コロナ禍のなか、2年ぶりとなる神奈川学習センターでの学位記授与式が2022年9月25日挙行されました。全科履修生として出席した私は、神奈川学習センター大谷英雄所長から卒業証書をいただいた時は、老年期を迎えるながらも放送大学を卒業した達成感で胸が熱くなりました。

私が放送大学に入学したのは2010年(平成22年)4月の定年を迎えた年で、当時、放送大学神奈川学習センターに在籍していた妻に入学を勧められたのがきっかけです。会社には再雇用され残っていましたが、社会の中で人間の心の在り方について再認識したく思い、卒業を考えず軽く自由に学ぶために全科履修生で「心理と教育」を専攻しました。卒業は想ていなかつたので、1学期に1科目~3科目ぐらいのペースで始めました。

まず、初めに受けた授業は「かしこくなる患者学(07)」です。'empowerment'この言葉が私の心の支えとなり、12年半の長きに渡りいろいろありましたが卒業までたどり着くことができました。どんなに苦しい時でも think positively 精神です。心に残る放送授業は「精神分析とユング心理学(17)」「英語事始め(17)」などです。面接授業では、仕事の関係や自宅から学習センターまでの距離を考えると、渋谷学習センターでの「心理学研究法入門」でした。その他千葉学習センターの「数式のいらない物理学」や文京学習センターの「伝統太極拳に学ぶ体の使い方」などが他の学習センターということもあり印象に残っています。

元来のんびり屋なので5年間の在学期間はあつという間に終わり、残る5年間も単位を31残していました。でも先は見えていると思い再入学してチャレンジし、持ち前の粘り強さと底力を發揮することができました。コロナ禍も幸いしたのか外での活動が制限されたことで動けない分勉強に集中することができ、2年半で無事に卒業しました。最後の授業はONLINE授業の「生涯学習を考える(17)」でした。社会の一員としてこれからも残された時間を大切に使うために、大学に残り生涯学習を続けたいと思います。

卒業生の言葉

情報社会をいかに生きるか

木村多一



私は昭和二十四年生まれの団塊の世代です。物心付いた頃、身近にあった情報機器と言えば真空管式ラジオと新聞ぐらいでした。

それが今の時代はどうでしょうか。様々な情報機器の発達で欲しいと思う情報が瞬時にどこでも手に入ります。しかしながら、情報の押し付けや誤った情報が多いのも事実です。

正しい情報をタイムリーに取得出来ることが、普段の生活を快適に維持する為に欠かせません。また、情報は自分の人生をも左右いたします。虚々実々の溢れる情報とどう付き合ったらよいかと思い情報コースを選択して卒業した今、印象に残った講義をふりかえってみます。

「情報化社会と国際ボランティア」はとても意義がありました。発達した情報システム、機器を利用して、①万人のための教育推進活動 ②途上国での保健医療向上推進など人類全体の生活向上を図る取り組みが実現可能になって来たことが授業の中で具体例と共に紹介されていました。私達一人ひとりが困っている人の手助けを自分のできる範囲で実行することがとても大切なことだと、この講義で改めて教えられました。その他「コンピューターと人間の接点」「情報技術が拓く人間理解」もコンピューターの発達に伴って新たに発見できた人間の各種感覚機能を知れたのはとても興味深いものでした。

人間はこの地球の自然環境の中で生かされて來たのだという事が情報機器の開発の過程で明らかになってきました。

今後は、情報の中でも AI をどの様に導入するかが問題です。現在の世界では「情報」は人類の幸福のためにだけ利用することは困難なよう思えます。「真に人類に役立つ情報普及をいかに実現出来るか」が問われていると思います。このコースはこうした人類の持続可能性についても考えさせてくれました。

社会貢献活動（プラン）

同窓会が支援・交流している Fabrice（アフリカ西部のベナン 11 歳男子）とその家族より手紙が届きました。彼の父親が亡くなつたために勉強を継続できるのか心配していましたが、勉強を続けているとのことで安堵いたしました。

しかし、ベナンでは義務教育は初等教育の 6 年間であり、初等教育修了率は男 51%・女 44%、若者の識字率は男 70%・女 52% です。（ユニセフ世界子供白書 2021）また、多くの子どもたちが良質な教育を受けることが難しく、質の高い教師の数も不足しているのが実情です。厳しい状況ではありますが Fabrice にはこれからも勉強を継続してほしいと願います。

文末に「あなたがたの友情には、ありがとうの言葉では足りません。どうぞお元気で」と、皆様へのメッセージがありました。

(田代和嘉)



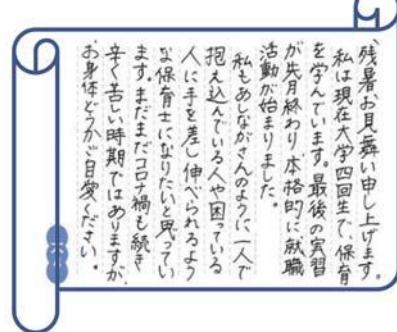
社会貢献活動（あしなが育英会）

あしなが育英会への寄付金は、左右社発行の大学叢書の売上手数料を全額寄付する形で成り立っている事を、波濤63号(2022年7月27日発行)でもお伝えしました。

コロナ禍が続くながで、学習センターでの叢書販売方法を模索中ですがなかなか難しく、皆さんにお会いしての対面活動が早く再開できるよう願っています。

今回『あしながファミリー』177号(2022年8月25日発行)に寄せられた奨学生の手紙を紹介します。文中の“あしながさん”はあしなが育英会を支援する私たちです。

(村田カズ子)



第7回ミニサロン紙上発表

小栗上野介忠順と横須賀製鉄所

藤本 熱



嘉永6年（1853）6月ペリー艦隊が浦賀に来航してから12年後、勘定奉行小栗上野介忠順（以下小栗）が心血注いで横須賀製鉄所を建設する、しかしその存在はあまり知られていません。

小栗は文政10年（1827）6月、三河譜代の2500石大旗本小栗家の嫡男として神田駿河台に生まれました。ペリーが再来し日米和親条約を締結した安政2年（1855）小栗は12代目として家督を相続したのです。

安政5年（1858）6月勅許を得ぬまま大老井伊掃部介直弼によって神奈川沖のポーハタン艦上で日米修好通商条約が調印されました。その後、幕府は条約批准のため正使新見豊前守正興を団長として遣米使節団を送ることになります。小栗は大抜擢を受け目付に任命され、使節に任せられます。安政7年（1860）1月18日、米軍艦ポーハタン号で77名の大使節団が品川から出航します。隨行艦として咸臨丸が軍艦奉行木村攝津守喜毅、艦長勝海舟、福沢諭吉、ジョン万次郎（通訳）以下96名、米国海軍士官以下11名が同年1月19日浦賀を出航しました。3月9日遣米使節団は無事サンフランシスコに到着、大歓迎を受けパナマまで航海してパナマ鉄道で渡ります。アスペンウォールからロアノウク号でワシントンに到着します。閏3月28日ホワイトハウスで第15代大統領ブキャナンに謁見し、4月3日国務省でカス国務長官と調印式を済ませます。4月5日米国政府の勧めもあってワシントン海軍造船所を見学します。小栗はこの時一本のネジを貰い受けたのです。後にこの体験が横須賀製鉄所建設の原動力になったのです。5月13日ナイアガラ号でニューヨークを発し大西洋を横断、ルアンダ、喜望峰を廻ってインド洋を渡り、香港経由で9月28日品川沖に帰航しました。

小栗は帰国後列強の脅威に大きく変わり始めた国内情勢、文久年間は幕府の歴史において多事を極め衰亡の危機にありました。元治元年（1864）小栗は

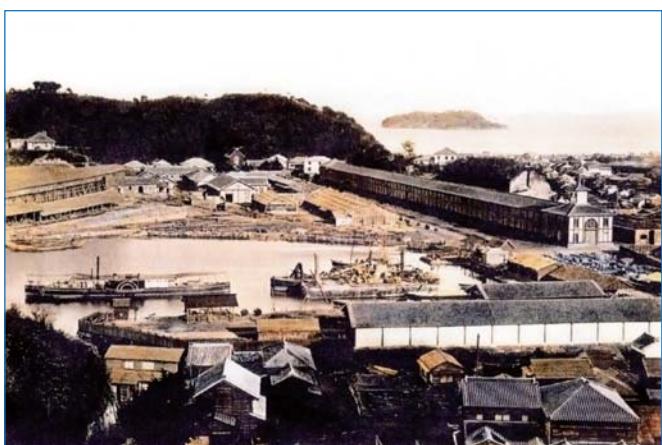
再び勘定奉行に任せられ念願の本格的な造船所、修理施設の建設に邁進します。朋友栗本鋤雲の協力もありフランスに技術支援を頼みます。仏公使ロッシュと交渉、製鉄所の責任者にヴェルニーを招聘します。慶応元年（1865）9月27日、横須賀製鉄所の鍛入れ式が行われます。幕府内外から批判がありましたが「製鉄所が出来れば幕府が政権を譲ることになんて“土蔵付きの売り家”として価値あるものとなり名誉なことである」と語ったといいます。この製鉄所が日本の近代化に大きな役割を果たすであろうと確信していたのです。

慶応4年（1868）閏4月、幕府が本格的洋式造船施設として設立した横須賀製鉄所が新政府に引き継がれます。この年1月「戊辰戦争」が始まります。こうした状況下でもヴェルニー指導のもと工事は継続されました。

小栗はこの戦争が始まると新政府軍と幕府側についたフランスの思惑も手伝って徹底抗戦を主張していました。江戸城評定の場で小栗は主戦論を説き、恭順姿勢を執る慶喜の袴をつかんで制しましたが振り払われ座を立ち去られました。同年1月14日慶喜から「御役目御免」を申し渡されます。江戸を去り妻子や供の侍と上州権田村に引き籠りました。

徹底抗戦を主張しその才覚に怖れを抱いていた新政府軍は小栗を逮捕し審判もないまま閏4月6日、引き立て権田村に流れる鳥川河原で斬首。数えの42歳でした。

後に大隈重信公が「明治政府の近代化政策は小栗上野介の模倣にすぎない」と小栗の偉大さを語ったと伝わっています。



明治4年頃 横須賀製鉄所全景 猿島遠望

第8回ミニサロン紙上発表

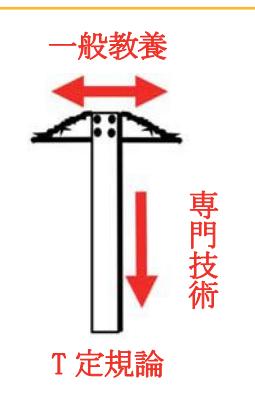
日立製作所の人材育成 ～経営戦略を具現化する生産技術者～



土方洋次

大企業製造業における生産技術者育成をテーマに、内部の者しかわからない日立製作所の人材育成施策を報告する。研究対象は、筆者自身の59年間の業務経歴を人材育成の観点

から分析した。人材の育成の骨子はT定規論である。(パソコンで機械設計する以前はT定規で設計)良き技術者とは、専門技術を深く、かつ一般教養も身に付けることを意味する。以下報告内容を成長に応じて5分割する。



1. 入社から20年間は生産技術者の基本姿勢を学んだ

- 1) 社風から。日立は1910年(明治43年)創業。日立精神の「和・誠・開拓者精神」を。
- 2) 上司から。生産技術部に配属され、不良対策では「なぜ、どうして」を問え。そして「現場に行き、現物を見て、現象を原因がわかるまで観察せよ。これで大きな改善に成功し、アメリカで発表することができた。この経験で生産技術者としての基礎ができた。
- 3) ラグビー部の先輩から。①試合終了まで全力投球を。②無心でタックル。逃げるな、強い勇気を持て。③ボールを持ったら、ゴールを目指して突進する。一步でも前進せよ。

2. その後の25年間はプロジェクトリーダー活動で戦略を具現化する生産技術者に

- 1) 革新的なことをねらえ。専門技術を深め、コスト意識を持て。
- 2) トップは、真剣で誠実な意見なら聞いてくれる。決めた約束は実行し、信用を得る。

3. 「現場管理監督者的人材育成」を実践

技術的なことは自分ができるが、現場管理監督者の意識改革には、現場たたき上げの人が大活躍した。良いコンビで110人を育てた。

4. 異業種への展開の10年間

成果で社会貢献ができた。できた理由は、

- 1) プロジェクトリーダーの経験が役立った。社長と「報、連、相」を密にし、ベクトルを合わせた。また従業員には自分の業務進行をすべてオープンに。もう一つは、現地に席を設けて仕事をするが、身についていたので、違和感なく異業種で業務遂行ができた。
- 2) 基本の充実で身についた「なぜ、どうして」「現場に行き、現物を見て、現象を観察する」。作業者と一緒に現場で実践した。
- 3) 「損・得」よりも「善・悪」で判断した。

5. 放送大学の4年間

日立で体得したことを学習に生かした。

- 1) 学習相談室に機会があるたびに入室し、会話をさせていただき、勉強法を確立した。
- 2) 卒業までの筋道を立案し、実践をした。
- 3) この初心を忘れないために、この4年間、3行日誌と月報を自分自身に配信した。
- 4) エキスパートプラン取得には、受講科目群とエキスパートプラン群とのマトリックス表を作成した。

59年間、未熟な筆者に関係された方々と長期間勤めることができた何か大きなもの(神・仏)に感謝を申し上げます。

日立製作所の人材育成を総括。

- (1)人材育成は、創業者の精神である「和」「誠」「開拓者精神」を基盤とした社風である。
- (2)この日立精神を基盤に「座学・OJT」で、厳しくしつけられた。これで生産技術者としての基本的考え方方が身についた。
- (3)基本の上に「プロジェクト活動」で一皮、二皮、三皮むける苦難の末に業務達成できた喜びと満足感が、人材を大きく成長させる。
- (4)苦難を経験したから「現場管理監督者的人材育成」「異業種への展開」ができた。
- (5)放送大学で、視野の狭い企業人が、勉強で得た知識で視野も広くなった。
- (6)T定規論の縦の専門技術を深め、横的一般常識(教養)を広める成長であった。



図7-5 体験で得た人材育成をT定規論で表現

第9回ミニサロン紙上発表

発表後の質問から考えたこと

小笠原郁恵

私は神奈川同窓会で行われている Zoom を利用した「ミニサロン」での講演を依頼され、「特定行為修了看護師による訪問看護師への影響」と題して発表を行いました。医療者以外の方々への発表は初めての経験でしたのでどんな反応なのか想像し緊張しました。しかし、発表が進むにつれ平常心に戻りました。発表後は同一会員の方から糖尿病についての質問を繰り返しいただき、糖尿病について新しい知見を得て大変興味を持ってくださったことと普段から疑問が多くあるのだと感じました。短い診療時間内では医師と話すことの緊張や聞くことが多いと肝心なことを聞き逃しやすい、何と聞いてよいのかわからないのではないかと推察しました。

興味深いのは、クリニックでは看護師が患者と疾患についての対話をすることが少ないと知ったことです。私は長く病棟勤務でした。糖尿病は元々外来にシフトするもので、入院での画一的な治療ではなく実生活を経験しながら様々な役割を果たす生活者に沿った治療や支援が必要です。そこで、病棟勤務から外来での患者支援に配置換えをしてもらい 4 年目を迎えるました。現在は、血糖コントロール不良な患者さんと食事、薬物、運動の三側面から振り返り、情報提供を行っています。自分にとって日常になっていましたが、質問から現実に戻されたような思いに至りました。

長い病棟勤務経験を経て次第に病院という箱の中にいて先客万来を待つことも大事ですが、アウトリーチ活動がしたいと考えるようになりました。ミニサロンの題材となった訪問看護師への勉強会もその一つです。他にも訪問ヘルパーさんに向けて勉強会を病院外での開催、介護老人保健施設に手紙を送り勉強会開催を呼びかける試みをしました。ところが、コロナ禍になり对外活動が制限され活動は停止しました。個人活動だけではなく、病院全体の地域への働きかけも減少しました。

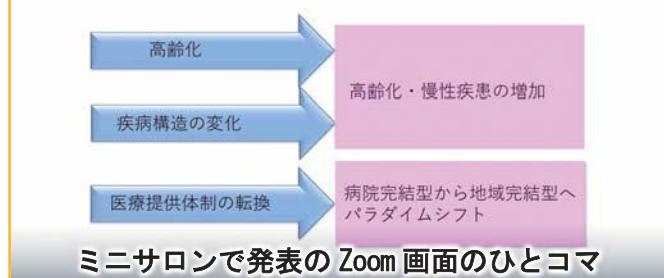
さて、もう一つの大きな質問は○○認定看護師や○○専門看護師についてです。特定行為につい

てもありました。認定看護師は看護師として 5 年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める 615 時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師審査に合格することで取得できる資格です。5 年毎に資格を更新します。分野は 21 分野(感染管理、皮膚・排泄ケア、認知症看護等)があります。専門看護師は看護系大学院修士課程修了者で日本看護大学系大学協議会が定める専門看護師教育過程基準の所定単位を取得していること、実務研修が通算 5 年以上あり、うち 3 年間以上は専門看護分野の実務研修であることを要件に認定審査後取得します。こちらも 5 年毎に更新があります。

特定行為は、診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合に実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識技能が必要とされる 21 区分 38 行為です。2015 年 10 月から開始されています。こちらは特段資格があるわけではなく更新制度はありません。医師に具体的な指示をもらわなくとも、あらかじめ許可された患者に看護師の判断で許可されている医療行為を行うことができます。2025 年に向けて、在宅医療等の推進に向けて創設されました。2019 年総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 28.4% でした。時代の潮流と共に看護界も変化しています。自施設においても認定看護師資格を取得し、専門を持つ看護師が増えました。自分のキャリアを証明するものを持つ時代になったと感じます。そして資格から得た知識・技術を様々な方々に還元し共有していきたいと考えています。



「治す医療」から「治し支える医療」



事務局だより

役員を募集します

神奈川同窓会では役員（准役員を含む）と一緒に活動していただける方を募集しています。同窓会はボランティア団体ですので、できる時でできる範囲でお手伝いいただければ結構です。

会員相互の親睦、本会のさらなる活性化、また放送大学の発展のために、お力を貸して顶くお願いいたします。役員になると新たな学びや経験ができます。ご協力いただける方は下記まで是非ご連絡をお願いいたします。

- ・神奈川同窓会事務局長：中島悦子
- ・Tel: 045-544-4296
- ・E-mail: nakajima_chacome@outlook.jp



会員投稿も募集しています

神奈川同窓会会報『波濤』をご覧いただいていると思いますが、「会員投稿」として皆様からの原稿を募集しています。コロナ禍で以前のような対面での行事がなかなかできませんが、会報『波濤』は会員の皆様の声を反映するものですので、是非ご寄稿いただきたいお願いいたします。

原稿内容は、放送大学との出会いや想い、近況報告、紀行文、地域活動、ボランティア活動、私の趣味・特技、私の好きな郷土料理などテーマはご自由です。800字程度にまとめていただければ結構です。また写真のみの投稿もお待ちしています。

ご連絡いただければ投稿資料をお送りしますのでよろしくお願ひいたします。

連絡及び原稿送付先

- ・会報『波濤』編集委員長：佐藤 敬
- ・Tel: 080-1010-5585
- ・E-mail: sts.sato-10167@nifty.com

〈新入会者ご紹介〉

2022年7月27日発行の『波濤』第63号掲載以降の新入会者は下記の通り6名の方々です。心より歓迎申し上げます。（敬称略）

川渕 傑	関 友子	磯野進一
村上 博	新倉裕子	本城智美

〈お願ひ〉

住居移転された方やMailアドレスを変更された方は、次のいずれかの方法で連絡をお願いいたします。

- ① 放送大学神奈川同窓会のホームページから
<https://hatoh.net> の「入会案内」の「申し込みフォーム」から「住所変更」または「メールアドレス変更」と連絡事項に追記し送信。
- ② メールの方は下記アドレスで。
E-mail: nakajima_chacome@outlook.jp
担当：中島悦子
- ③ ハガキの方は下記住所へ
〒232-0061 横浜市南区大岡2丁目31番1号
放送大学神奈川学習センター内
神奈川同窓会 中島悦子

訃 報

福島 偕様

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

神奈川学習センターでの学位記授与式は2022年9月25日、2年ぶりに挙行されましたがまだ学習センターでの活動ができません。

Zoomによる会員発表の「ミニサロン」の原稿は本号では3名の方にお願いしました。以前のように学習センターで行う「弘明寺サロン」が早く開催できるよう願っています。

（佐藤 敬）